

頭部・顔面の学習目標

1. 顔面

- 1) 顔面の表情筋について基本構造と作用および神経支配が説明できる。
- 2) 顔面における顔面神経(その分枝も含む、cf. 鼓索神経、大錐体神経)、および三叉神経(眼神経、上顎神経、下顎神経、)のそれぞれの走行、分布、支配が説明できる。
- 3) 耳下腺、顎下腺、舌下腺の位置、構造、働きが説明できる。また、組織学的な違いも説明できる。
- 4) 外頸動脈の主な分枝について走行と分布領域を説明できる。
- 5) 舌骨上筋群の名称と位置および作用と神経支配が説明できる。

2. 咽頭

- 1) 咽頭収縮筋の構造を理解し、神経支配が説明できる。
- 2) 咽頭の区分と内部構造を理解し、嚥下との関係も説明できる。
- 3) 扁桃の位置と名称および、その構造と働きを理解して説明できる。
- 4) 耳管咽頭口の位置および耳管の構造と働きを理解して説明できる。
- 5) 椎前隙および椎前筋の構成と意義を説明できる。

3. 喉頭

- 1) 甲状腺と上皮小体の形態(位置、構造、血管分布)を理解し、その内分泌機能も説明できる。
- 2) 喉頭を構成する支柱構成(喉頭軟骨群)とそれらの結びを理解して説明できる。
- 3) 喉頭内腔の構成を整理して説明できる。
- 4) 喉頭筋(外喉頭筋群、内喉頭筋群)でわかる。
- 5) 発声との関連から内喉頭筋群の働きを説明できる。
- 6) 「声がわり」や「発声障害」が生じる機序について解剖学的見地、神経学的見地より説明することができる。
- 7) 気管の構造、気管周囲の構造との位置関係、分枝の位置等について理解している。

4. 頭蓋底

- 1) 頭関節(正中環軸関節、外側環軸関節)の構造と働きを理解し説明できる。
- 2) 髄膜の構成と硬膜の広がり(大脳鎌、小脳テント、小脳鎌など)を説明できる。
- 3) 解剖学的な見地より硬膜外出血、硬膜下出血、クモ膜下出血の違いを理解できる。
- 4) 頭蓋底における内頸静脈の走行が分かり、硬膜静脈洞と関連付けて説明できる。
- 5) 硬膜静脈洞の構造を理解し、その流出経路を説明できる。
- 6) 脳神経12対の位置と名称、および頭蓋を出るまでの走行を説明できる。
- 7) 頭蓋底部における内頸動脈の走行を説明できる。
- 8) 下垂体の形態(位置と構造)を理解し、内分泌機能も説明できる。また、下垂体腫瘍の際の視野狭窄(特に両耳側半盲)の発症理由を視神経の位置、走行と関係して説明できる。

5. 口腔

- 1) 口腔前庭と固有口腔(狭義の口腔)が分かり、構造と機能を関連付けて説明できる。
- 2) 唾液腺(口腔腺)を大唾液腺(舌下腺、顎下腺、耳下腺)と小唾液腺とに区別して分かり、名称、位置、導管の開口部、構造、働きを説明できる。
- 3) 歯の形態(切歯、犬歯、小臼歯、大臼歯)、本数、支配する神経と血管を説明できる。
- 4) 口蓋の構造を発生過程を含めて理解している。
- 5) 口峽の構造を理解し、構成する筋、支配神経、働きを説明できる。
- 6) 舌の区分、舌乳頭の区別と分布、味蕾との関連を理解し、味覚と一般体性感覚に關与する神経を説明できる。
- 7) 舌の筋(内舌筋と外舌筋)の構成を理解し、筋の名称、支配神経、血管分布、筋の働きを理解し説明できる。

6. 鼻腔

- 1) 鼻腔の構造(上壁、下壁、内側壁、外側壁)を構成する骨を理解し、上・中・下鼻道の構成要素を説明できる。
- 2) 副鼻腔の構造、名称、位置を理解し、副鼻腔と鼻涙管の開口部と上・中・下鼻道との関連を説明できる。
- 3) 鼻腔に分布する血管と神経の名称、分布領域、機能を理解し説明できる。また、鼻出血の好発部位とその理由が説明できる。

7. 側頭部と側頭下窩

- 1) 咀嚼筋(咬筋、側頭筋、内・外側翼突筋)の起始、付着、支配神経、働きを説明できる。
- 2) 顎関節の構造を説明でき、関節頭の運動の時に作用する咀嚼筋と関連付けて説明できる。
- 3) 翼突筋静脈叢の構成静脈が分かり、内頸静脈への連絡が理解できる。
- 4) 下顎管の構造が分かり、通過する神経、血管を機能と関連付けて説明できる。

8. 三叉神経節、膝神経節、舌咽神経の上・下神経節、迷走神経の上・下神経節)の見られる位置、神経節の中樞側と末梢側の走行、支配領域を機能と関連付けて説明できる。

9. 頭部・顔面の副交感性神経と交感性神経

- 1) 頭部・顔面の副交感性神経節(顎下神経節、翼口蓋神経節、耳神経節)の位置、支配部位、走行、脳神経との関連、機能を説明できる。
- 2) 頭部・顔面に分布する交感性神経節(上頸神経節)の位置、支配部位、走行、機能を説明できる。